

2024 年 8 月 23 日

農林水産大臣 坂本 哲志 殿

日本共産党国会議員団

米不足への緊急対応を求める申し入れ

国民の主食である米の在庫が不足し、販売価格が高騰している。店頭から米が消え、国民が買えない・食べられない事態が全国で起きている。

坂本哲志農林水産大臣は会見で「ひっ迫しているとは考えていない」と述べたが、現実には多くの国民が米を入手できない状況となっており、政府の無策は看過できない。

そもそも、このような事態を招いた原因は政府の政策にある。

政府は長期にわたり農民に減産を押し付けたあげく、米の需給と価格の安定に対する政府の責任を放棄してきた。2021 年の米の生産者価格の暴落以降、全国の米農家は低米価と農業資材の高騰に苦しみ、離農が急激に進んだが、政府は何の対策も講じなかった。

その結果、かつて 1000 万ト以上あった米の生産量は 661 万トにまで減少し、今年は需要量が上回ったために、6 月末時点の米の民間在庫量が 156 万トンと過去最低水準となった。

現下の米不足は、安定して十分な生産量を確保し、価格保障・所得補償によって農家の収入を支えるという、多くの国々で行われている政策を採っていれば防げた事態であり、政府の失政の結果と言わざるをえない。政府は在庫があると言うが、ならば最低限、それが店頭に並ぶよう緊急に対策を取るべきである。

また、食品価格の高騰が続く中、米の価格の高騰が低所得者・貧困家庭を直撃していることも深刻である。特に給食のない夏休み期間中、子どもたちが 3 食のごはんを食べられない事態が全国で起きており、フードバンク・子ども食堂も米の調達に苦慮している。今すぐ、備蓄米を活用した対策を打つべきである。

よって、以下を申し入れる。

記

1. 米不足の実態・実情を把握し、関係者の声を聞くこと。
2. 政府備蓄米の活用も含め、生産者団体や流通・小売業界と協力し、店頭に十分な米が回るよう、緊急対策を講ずること。これにより生産者に価格の変動による不利益を生じさせないこと。
3. 農家の価格保障や所得補償を抜本的に充実し、大多数の農業者が安定して生産を続けられる条件を整えること。
4. 価格高騰により米の小売業者の仕入資金が不足している。借り入れ条件の優遇、別枠融資、利率の軽減等の緊急対策を講ずること。
5. フードバンク・子ども食堂への備蓄米の支給制度を活用し、今すぐ緊急に支給できるよう改めること。県・市町村に申請窓口を設けること。

以上